

**MDT実施ガイドライン・プラクティカル版作成
のためのワーキンググループ会議開催 (7/18)**

プロジェクト3年目からケースマネジャー養成研修を行ってきました。ここでは、人身取引ケースがあった場合、MDTメンバーがどう行動するべきかということに焦点をおいてきました。それらの研修を通して、人身取引対策に携わっているMDTメンバーが業務上使用すると便利なフォーマットやチェックリストを作成してきました。それらをまとめたものをMDT実施ガイドラインのプラクティカル版(Vol.4)として刊行するためにワーキンググループ会議を開催しました。



(写真：協議の様子)

ワーキンググループメンバーとして、人身取引対策部(BATWC)、パヤオ県・チェンライ県の社会開発人間安全保障事務所、シェルター、労働省、警察、検察省、大メコン圏の人身取引に対応する国連機関合同プロジェクト(UNIAP)など様々な関連団体から30名が集まりました。プラクティカル版はタイ人被害者対応と外国人被害者対応の2冊がセットとなる予定です。

短期専門家2名到着 (7/28)

8月の1週目にパヤオ、チェンライ、バンコクの3ヶ所で実施予定のジェンダーメインストリーム研修の企画及び実施指導のために短期専門家として、田上時子さんと石本宗子さんがタイに来られました。田上専門家は、現在NPO法人「女性と子どものエンパワメント関西」の理事長で、長年に渡って女性と子どものエンパワメントに努めてきており、性の健康教育や暴力防止など関連

のワークショップや研修、講演などの豊富な経験があり、関連著書も多数あります。石本専門家は福岡県女性相談所で婦人保護事業に携わると同時に性暴力被害女性への支援活動を行い、2002年からはDV等被害者支援団体の協同代表を務める傍ら、2003年からは久留米市男女平等推進センターの相談員として相談業務に携わっています。また当プロジェクトのケースマネジャー育成準備調査にも携わられました。今回の研修はFoundation for Women (FFW) とLive Our Lives (LOL) のスタッフ2名がファシリテーターとなって行うため、研修の2日前に顔合わせを兼ねて打ち合わせをしました。

またタイにおける人身取引被害者保護の現状を把握するために、ナコーンラーチャシマー県のナリサワット長期シェルターを訪問しました。このシェルターには青年海外協力隊の千田隊員が配属されており、シェルターのサービスの内容や被害者保護の現状と課題などを共有して下さいました。



(写真：左から2番目から石本専門家、田上専門家、右から2番目千田隊員)

同通信はプロジェクトの進捗状況及び関連情報をお知らせする目的でありJICAやカウンターパートの見解を示すものではありません。禁転載。